平成28年3月2日

産業厚生委員会

阿久根市議会

1. 日 時 平成28年3月2日(水) 9時58分開会
11時20分散会

2. 場 所 第1委員会室

3. 出席委員 仮屋園一徳委員長、白石純一副委員長、中面幸人委員、
野畑直委員、濱崎國治委員、牟田学委員、
岩崎健二委員、山田勝委員

4. 事務局職員 議事係主査 大漣 昭裕

5. 説明員 ・商工観光課
課長 堂之下浩子 君 課長補佐 菌畑 雄二 君

6. 会議に付した事件

- ・議案第17号 阿久根市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について
- ・請願第1号 南九州西回り自動車道サービスエリア等建設に関する請願書
- ・平成27年陳情第14号 新規創業者(予定者)を支援する補助金の創設の陳情書
- ・陳情第5号 精神障がい者の交通運賃割引を求める意見書提出を求める陳情書

7. 議事の経過概要

別紙のとおり

議事の経過概要

仮屋園一徳委員長

皆さん、おはようございます。ただいまから産業厚生委員会を開会します。

本委員会に付託になった案件は、議案第17号、阿久根市消費生活センターの組織及び運営に関する条例の制定について、請願第1号、南九州西回り自動車道サービスエリア等に関する請願書、平成27年陳情第14号、新規創業者(予定者)を支援する補助金の創設の陳情書、陳情第5号、精神障がい者の交通運賃割引を求める意見書提出を求める陳情書、以上、議案1件、請願1件、陳情2件であります。

ここで、日程についてお諮りします。委員会の日程は、3月2日の1日間とすることに御異議ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認め、3月2日の1日間といたします。

なお、本日の日程は配付しました日程表のとおり進めていきたいと思っておりますのでよろしくお祈りいたします。

また、本定例会で付託された議案に対する現地調査は所管課への質疑のあとお諮りいたします。それでは、執行部の出席をお願いいたします。

山田勝委員

その前に、商工会議所から参考人として呼ぶことをはよ決めとったほうがよかつじゃんかん。

仮屋園一徳委員長

休憩に入ります。

(休憩 10:00～10:01)

仮屋園一徳委員長

休憩前に引き続き、会議を開きます。

(商工観光課 入室)

仮屋園一徳委員長

初めに、議案第17号、阿久根市消費生活センターの組織及び運営に関する条例の制定についての審査に入ります。商工観光課長の説明を求めます。

堂之下商工観光課長

議案第17号、阿久根市消費生活センターの組織及び運営等に関する条例の制定について御説明申し上げます。

まず、制定の理由であります。消費者安全法が改正されることに伴い、消費生活センターの組織及び運営等に関し必要な事項を定めるため、この条例を制定しようとするものです。その消費者安全法の主な改正内容であります。消費生活センターを設置する市町村は、内閣府令で定める基準を参酌して、消費生活センターの組織及び運営に関する事項等について、

条例を定めるとことされ、消費生活相談員資格試験が法定化されたことであります。

それでは内容について御説明いたします。43ページをごらんください。第1条は、本条例の趣旨を定めたものであります。第2条は、消費生活センターの名称と位置について、定めました。第3条は、職員の配置について定めました。第4条は、消費生活相談員について規定したもので、第1項では、消費生活相談員は、消費生活相談員資格試験に合格した者、又はこれと同等以上の専門的な知識及び技術を有すると市長が認める者とししました。第2項では、消費生活相談員の専門性に鑑み、適切な人材及び処遇の確保に必要な措置を講ずるものとしたものであります。第5条は、消費生活センターに従事する職員に対して、資質向上のための研修の機会の確保について規定いたしました。第6条は、消費生活センターの事務の実施により得られた情報の安全管理について規定しました。第7条には、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定めることとししました。最後に、附則として、この条例の施行日について、平成28年4月1日とするものであります。

以上で説明を終わりますが、御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

仮屋園一徳委員長

課長の説明が終わりました。これより質疑に入ります。

岩崎健二委員

第4条の消費生活相談員の資格試験に合格した者というのがあるんですが、阿久根にはこういう方はいらっしゃるんですか。

堂之下商工観光課長

今回、法定化された資格試験というのが28年度から開始されますので、今、現在この試験に合格した者というのはいない状況であります。阿久根市にいらっしゃいません。ただ、みなし規定がありまして、消費生活アドバイザーであったりとか、いろんな任意の資格を持っていらっしゃる方で、市町村の消費生活センターに勤務が1年以上ある方は合格者とみなすということとはできるとなっているということでございます。

岩崎健二委員

ということは、第4条の同等以上の専門的などということば適用をして、今回は、28年度は行うということになるんですか。

堂之下商工観光課長

現在の消費生活相談員が4年間勤務しておりまして、いろんな研修等も参加しておりますので、今回、同等以上ということで採用したところでございます。

中面幸人委員

市民の方がですね、いろんな問題があったときに相談するところ、警察であったりとか、弁護士さんであったりとかですね、だからこういう行政のほうにこういうセンターがあるということは大変助かると思ってるんですけども、なかなか自分たちもよく知らない分野であってですね、この消費生活センターについてですよ、どのようになっているのか、どのような問題等がですね、起こって相談されているか、何かそういう状況がわかったらちょっと教えていただきたいと思えます。

堂之下商工観光課長

26年度の実績で申し上げます。商工観光課の中に消費生活センターは設置しておりますけれども、一応訪問販売に関する相談が19件、電話勧誘販売に関する相談が17件、催眠商法に関する相談が1件、マルチ商法に関する相談が2件、あと多い者としては通信販売に関する相談が13件等々となっております。平成26年度では103件の相談件数があります。今、市報におきしても毎月消費生活相談コーナーというページを設けておりますので、

そこで今、一番多い相談等についての情報提供ということでやっておりますし、あとは各集落の高齢者学級等に出かけて行って、啓発をするということをやっております。

中面幸人委員

結構、1年間に103件という相談があるということでございますが、これの相談についてもいろいろあるかと思うんですけどですね、相談された方が、いわば解決ですね、その辺あたりはどうなんですか。この消費生活センターでほとんど解決できているのか。あるいはまた、弁護士なんかには相談せないかんのか、警察に相談して、その辺の状況はわかりますか。

堂之下商工観光課長

その件数についてはちょっと把握をしておりますけれども、例えば通信販売等に関する相談についてはクーリングオフの期間であれば相談員と一緒に解決に導いておりますし、その他、やはり弁護士等の専門家の相談が必要な場合はそういった専門家におつなぎするという形で解決に向けて、こちらのほうはおつなぎするという形で仕事をしております。

仮屋園一徳委員長

よろしいですか。ほかの方。

白石純一委員

先ほど説明のあった消費生活相談員、現在の方っていうのは市の職員ということでよろしいわけですかね。

堂之下商工観光課長

嘱託職員で採用しております。

白石純一委員

第3条で、組織としてセンター長、そして相談員、その他必要な職員を置くものとしてございますが、このセンター長は市の職員ということでよろしいでしょうか。

堂之下商工観光課長

センター長は商工観光課長が兼ねることということで規則で定めております。

白石純一委員

今、聞いたのはですね、商工観光課長が兼務するということが納得したわけですがけれども、このセンター長としての仕事だけでは恐らく、それで専属というのは不適切かなと思ったものですから伺った次第で、兼務ということであれば適切かと思えます。その他必要な職員、今、現在何名ほどを勘案されておりますでしょうか。

堂之下商工観光課長

商工観光課の職員の中で1名と、あと課長補佐も担当ということで担当になっていただいております。

白石純一委員

合計、組織としては何名体制になりますか。

堂之下商工観光課長

相談員を入れて4名でやっております。

[白石純一委員「わかりました」と発言]

仮屋園一徳委員長

ほかの委員の方から。

濱崎國治委員

お伺いします。第4条で基本的には消費生活相談員資格試験に合格した者ということがありますけれども、現在の方は経験年数でそれと同等以上ということでの話ですがけれども、現在の方を4月1日から採用するとすれば、この試験を受けさせるとか、そういう要請をさせ

るおつもりですか。

堂之下商工観光課長

採用に当たりまして本人と面接をいたしました。その際に本人が資格試験に挑戦したいということを申し出ておりましたので、多分、今度試験を受けることになると思います。

濱崎國治委員

それから、第6条で情報の安全管理ということで、必要な措置は講じるということですが、これは規則で、どのように定められる予定ですか。すみません、その前に規則で定められるんですか、それとも別途定める予定ですか、お伺いします。

堂之下商工観光課長

情報の安全管理については、別途定めることになると思います。今の規則の今、規則案をつくっておりますけれども、その中にまだ文言は入っておりませんので、別途定めることになると思います。

濱崎國治委員

特に嘱託職員が直接、相談員として担当するということでもありますので、特にこの情報の安全管理についてはですね、十分やっぱり配慮をする必要があるんじゃないかなということでお尋ねしましたので、ぜひですね、これについては適切な管理のための必要な措置をしっかりと講じていただきたいというふうに思います。

以上です。

[堂之下商工観光課長「わかりました」と発言]

仮屋園一徳委員長

ほかの委員の方からありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なければ、議案第17号について、審査を一時中止いたします。

(商工観光課 退室)

仮屋園一徳委員長

休憩します。

(休憩 10:14～10:18)

仮屋園一徳委員長

休憩前に引き続き会議を開きます。

以上で議案の審査が終了しましたが、議案第17号に関する現地調査について各委員の意見を伺います。

岩崎健二委員

必要ないと思います。

仮屋園一徳委員長

それでは必要なしと認め、現地調査はしないということよろしいですか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

それでは必要なしと認め、現地調査はしないことに決めました。

それでは、議案第17号、阿久根市消費生活センターの組織及び運営に関する条例の制定についてを議題とし、各委員の御意見を伺いたいと思います。

[「なし」を呼ぶ者あり]

なければ、次に本案について討議に入ります。

[「なし」を呼ぶ者あり]

なければ、次に討論に入ります。

[「なし」を呼ぶ者あり]

なければ、討論を終結いたします。

これより、議案第17号、阿久根市消費生活センターの組織及び運営に関する条例の制定についてを採決いたします。

本案は原案のとおり可決すべきものと決するに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認めます。よって議案第17号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

次に、請願第1号、南九州西回り自動車道サービスエリア等に関する請願書についてを議題といたします。ここで、委員の皆様から御意見を伺います。

岩崎健二委員

阿久根川内間が事業採択されて、既に測量設計に入っている状況の中で、いち早く動く必要があると思いますので、必要な施設だと思しますのでぜひ採択をして議会としても取り組んで、陳情等も含めて取り組んでいきたいと思っております。

仮屋園一徳委員長

ほかに。

山田勝委員

私は採択することについてやぶさかでないんですが、提案者である商工会議所の意見も聞かなければいけないという気がするんですよ。商工会議所の本意はどこにあるのか、ただ単にですね、サービスエリアをつくってください等の気持ちよりもまだもっと何かあるのではないかと気もするし、あわせて、市内の請願・陳情者についてはね、やはり私は直接、陳情者に来ていただいて話を聞くというのが私は原則だという気がするんですよ。

仮屋園一徳委員長

ほかの委員の方から。

中面幸人委員

私もそのほうがいいと思います。

仮屋園一徳委員長

ほかに御意見ございませんか。

白石純一委員

私も請願者の意見も聞いてみたいと思いますし、また私もこのサービスエリア等建設に関する請願について、趣旨としては賛成するものなんですが、中身についてですね、意見交換等も請願者としてみたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

山田勝委員

私はね、商工会議所のある幹部の人からね、なんでこういうのを提案されたんですかっっちゃう話をする中でですね、実は知事が出水阿久根では何もプロジェクトをしていないし、上がってこない。4、50億のあれを、なんで上げてやらないのかということが、事の始まりだというんだっただけですね、やはりその真意を会議所に確かめないといけないという気がするんですよ。だから、会議所もやっぱりそういうことを出されるんだっただけ、ちゃんとやっぱり会議所の話し合いを聞いて、議論をしながらしていかないといいかんという気がするもんですからね、そういうことを言うんですよ。

仮屋園一徳委員長

ほかに。

白石純一委員

休憩を。

仮屋園一徳委員長

休憩に入ります。

(休憩 10:22~10:26)

仮屋園一徳委員長

休憩前に引き続き会議を開きます。

次回開催される本委員会に請願者を呼ぶことに異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認め、次回、請願者を呼ぶことといたします。

次に、平成27年陳情第14号、新規創業者（予定者）を支援する補助金の創設の陳情書についてを議題といたします。ここで、委員の皆様から御意見を伺います。

みんな持ってらっしゃいますか。

白石純一委員

私は、賛成です。というのも、やはり今、国がいろいろ補助金は、こういう新規創業者に対する補助をしているんですけども、私もちょっと経験があるんですが、この国に申請するのはかなり、当然競争率も高くなってですね、身近に事務局がないものですから、国とやり取りする国の出先等とやり取りするのも大変煩わしい部分がございますので、やはり地元がこうして補助金を創設して地元が、市が窓口となって補助金を提供するというのであれば、より小規模事業者が申請しやすくなると思いますので、大変意義深いことだと思います。

仮屋園一徳委員長

ほかの委員から。

中面幸人委員

私もいいことだと思いますのでですね、自分たちもやっぱりこうして審議をする中で、なかなかわからない部分もあるので、一応、所管のほうにですね、今までこのようなですね、国も、白石委員のほうも言われたけど、国もこの新規、特に地方創生等ですね、新規創業者に対していろんな補助等を出そうというふうにしておりますので、その辺の所管課がですね、どういう形で把握をしているのかということも大事だと思うんですね。それぞれ議員の方も勉強されている方もいらっしゃると思うんですけども、そういう資料も揃えた中でちょっとまた勉強してみたらと思うんですけども。所管課を、ちょっと説明を受けてですよ。そういうふうに思いますが、いかがでしょう。

仮屋園一徳委員長

ただいま中面委員のほうから所管課の説明、資料提供と説明を求めたいという御意見が出ましたけど、ほかの委員の方から。

濱崎國治委員

私は、所管課も大事なんだろうけど、まずこの陳情者のですね、思いというのを、私は基本的には賛成なんですけど、陳情者の思いというのやっぱり聞いたほうがいいというふうに思います。特に請願第1号で請願者を呼ぶということで決まっていますので、この件についても一緒に聞くということでどうでしょうか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

仮屋園一徳委員長

ただいま請願者を呼ぶという意見が出ましたけれども、

[「陳情者」と呼ぶ者あり]

陳情者を呼ぶという意見が出ましたけれども、皆さんよろしいですか。

[「賛成」と呼ぶ者あり]

それでは、次回の委員会におきまして、陳情者を呼ぶということにしたいと思います。あわせて、所管課の説明を求めたいと思いますが、御異議ございませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なしということで、所管課についても呼びたいと思います。

次に、陳情第5号、精神障がい者の交通運賃割引を求める意見書提出を求める陳情書についてを議題といたします。ここで、委員の皆様から御意見を伺います。

岩崎健二委員

この件につきましては、以前、署名活動もあったと記憶しておりまして、私は署名にも参加しております。よって、今までなかったのが不思議だなと思っているところでありますので、これは陳情を採択すべきものと思っております。

以上です。

仮屋園一徳委員長

ほかの委員の方から。

濱崎國治委員

委員長、ちょっと休憩をとってください。

仮屋園一徳委員長

休憩に入ります。

(休憩 10:31～10:36)

仮屋園一徳委員長

休憩前に引き続き、会議を開きます。

ほかに意見がなければ、討議に入ります。

[「なし」と呼ぶ者あり]

討議なしと認めます。これにて討議を終結します。

なければ、討論には入りません。

[「なし」と呼ぶ者あり]

討論なしと認めます。これにて討論を終結します。

それでは採決いたします。本採決は挙手により行います。

ただいま議題となっております陳情第5号について採決とすることに賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

挙手多数と認めます。よって本陳情は、採択とすべきものと決しました。

以上で本委員会に付託されました議案は全て終了しました。ただいま議決されました案件に対する委員会審査報告書の作成及び委員長報告につきましては、

[発言する者あり]

すみません、休憩に入ります。

(休憩 10:38～10:51)

仮屋園一徳委員長

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

ただいま陳情第5号は採択すべきものと決しましたので、趣旨にあります意見書提出の件について協議願いたいと思います。

ここで暫時休憩いたします。

(休憩 10:52～10:53)

仮屋園一徳委員長

休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

ただいま配付いたしました意見書案について、御意見がございましたらお伺いをいたします。ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認めます。よって、精神障がい者の交通運賃割引を求める意見書案につきましては本委員会から提出することに決しました。

次に、日程の変更についてお諮りいたします。先ほど本委員会を本日の1日間としました。が請願者・陳情者との日程調整がありますので、次回の委員会については委員長に御一任願いたいと思いますが、これに御異議ありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

山田勝委員

委員長に一任すっどんかん、今期会期中に済ませっくれね。

仮屋園一徳委員長

はい、そのようにしたいと思います。

御異議なしと認め、日程については決まり次第通知をいたします。

[発言する者あり]

次に、本委員会の所管事務調査を議題といたします。本委員会に付託となり継続審査を行っている案件については、①地元企業の育成と商店街の活性化について、②海を活用した観光行政と宿泊設備の整備について、③道路・河川等の危険個所の整備について、④集落営農を活用した農業振興について、以上4件です。

これまで、地元企業の育成については、株式会社 瀬戸産業 長島工場に行き、視察と意見交換を行い、道路・河川等の危険個所の整備については、所管課を呼んで危険個所の確認を行い、また北薩地域振興局 土木建築課にも来ていただき、主に脇本赤瀬川線について意見交換を行いました。集落営農を活用した農業振興については、瀬之浦水稻農作業受託組合から説明を受け、意見交換を行いました。ここで今後の審査方法について協議のため、休憩に入ります。

(休憩 10:57～11:03)

仮屋園一徳委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

それでは、本委員会の所管事務調査についての今後の審査方法について、皆様から御意見がありましたらお願いします。

岩崎健二委員

まず、県の河川課との協議は天候等にも左右されないし、時期的にも左右されませんので、なるべく早くそれを行った上で、ほかの事項についてはその後、時期的なものを考慮しながら検討していけばいいかと思います。

仮屋園一徳委員長

次に。

山田勝委員

何遍も言うけど、県議への要望書ですか、陳情書ですか、それについてはね、早急にやってほしい、一つ。それともう一つは上野食品の分についてはですね、4月の初めということ で現地調査をお願いしたいと思います。

以上です。

仮屋園一徳委員長

ただいま委員のほうから県の河川保安課との意見交換を行ってほしい。それから、先ほど決議しました県議への要望書について、早急に進めてほしい。また、他の調査については海連の視察等については9月ということの意見が出ました。ほかに御意見ありませんか。

[山田勝委員「上野食品をゆたせん、海連は誰も言わなよ」と発言]

上野食品ですね。

野畑直委員

これまで決めていた所管事務調査とはちょっと違うんですけれども、これまで市議会の産業厚生委員会で取り組んできた子ども発達支援センターが今度、落成ということで、4月から入所が始まるということですので、産業厚生委員会として現地を調査したいと思いますが、いかがでしょうか。

仮屋園一徳委員長

ただいま野畑委員のほうから阿久根市子ども発達支援センターの現地調査についての御意見がありました。他の委員の方は。

中面幸人委員

今、野畑委員の案件につきましてはですね、当委員会で以前から審査等をして行った経緯がありますのでですね、ぜひ完工をした時点で、当委員会もですね、しっかりと見極めをしたほうがいいと思いますので、ぜひ現地調査をお願いしたいと思います。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

仮屋園一徳委員長

現地調査をするということで異議ありませんか

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

異議なしと認め、現地調査をすることに決しました。

ほかにありませんか。

中面幸人委員

先ほどの所管調査についてでございますけど、集落営農関係について、この間、瀬之浦に行きました。なかなかやっぱり調査をすればですね、大変難しい面も感じられました。やるからにはですね、当阿久根市で、地域でやるからには、成功に近いやり方をしなければならぬと思いますので、どこかやっぱりそういういい先進地等があればですね、ぜひそこらなんかも含めながら今後のですね、所管調査をですね、進めて、これで尻切れじゃなくて、そ

の辺まで含めながら、どこかそういう所管にもお願いして、成功しているような、できれば阿久根のこういう中山間地域におうたようなところをですね、調べていただいでですよ、ぜひつなげていただきたいと思ひます。

仮屋園一徳委員長

ほかに。

山田勝委員

ちよつと休憩をお願いします。

仮屋園一徳委員長

休憩に入ります。

(休憩 11:08～11:19)

仮屋園一徳委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。

なお、これらの調査に関する委員会の開催日は、所管課との調整もありますので、委員長に一任願ひたいと思ひますが、これに御異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

御異議なしと認め、そのように決定いたしました。

その他について、皆さんから御意見はありませんか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

なしということで、本日の産業厚生委員会を散会いたします。

(閉 会 11時20分)

産業厚生委員会委員長 仮屋園 一徳